

令和元年度 数学科 授業充実（改善推進）プラン

昨年度のプランの検証

単元ごとの確認テストや復習の時間を確保したことで、技能の向上が見られ、それによる達成感から意欲・関心が高まってきている。

数学科における調査結果の分析

内容別結果の分析	【1学年】 文字と式の分野で全国平均を上回っているが、それ以外の分野では全国平均を下回っている。 【2学年】 式の計算の分野で全国平均を上回っているが、それ以外の分野では全国平均を下回っている。 【3学年】 どの分野においても、全国平均を上回っている。
観点別結果の分析	【1学年】 どの観点においても、全国平均を下回っている。 【2学年】 どの観点においても、全国平均を下回っている。 【3学年】 どの観点においても、全国平均を上回っている。

調査結果に基づいた授業改善のポイント

数学への関心・意欲を高め、各学年の苦手分野において既習内容の振り返りを行い、基礎・基本の定着を図る。また、生徒同士の教え合い学び合いの活動を通して、様々な考え・解法を知り、応用力を身に付けさせる。

【1学年】

- ・小学生時に履修した分野を不得意としている生徒がいるので、履修済みの事項を習熟度別クラスで復習させ、授業への遅れがでないように指導していく。

【2学年】

- ・少人数授業により個別指導の場面を増やし、学習習慣が確立できていない生徒に対しても基礎・基本の定着を図る。

【3学年】

- ・1, 2年学習内容の復習なども取り入れながら基礎・基本の定着を図ることで、数学への関心・意欲を高めていく。

授業改善策

* 教員の指導力の向上とともに、生徒個々の状況を更に検討し、生徒が意欲的に授業に参加できるように努める。

【1学年】

- ・「数学への関心・意欲・態度」、「数学的な見方や考え方」を高めるために、授業の導入の仕方、教材の内容に工夫を加える。

【2学年】

- ・「数学への関心・意欲・態度」、「数学的な見方や考え方」を高めるために、解法について話し合う時間を設け、思考力を身に付けさせる。

【3学年】

- ・「数学への関心・意欲・態度」、「数学的な技能」を高めるために復習を適宜取り入れながら、教材の内容に工夫を加える。

